

平成27年度
石狩浜海浜植物保護センター活動報告

石狩市環境市民部
石狩浜海浜植物保護センター

目次

事業概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
1. 普及啓発活動	・ ・ ・ ・ ・ 1
2. 調査・研究	・ ・ ・ ・ ・ 1 2
3. 自然観察園の整備	・ ・ ・ ・ ・ 1 3
4. 環境整備事業	・ ・ ・ ・ ・ 1 4
5. 来館者数	・ ・ ・ ・ ・ 1 6
6. 保護・回復対策	・ ・ ・ ・ ・ 1 7
沿革	・ ・ ・ ・ ・ 1 8

事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境をのこしていくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。

1. 普及啓発活動

1. 石狩浜ハマナス再生プロジェクト

近年石狩浜は、後を絶たないバギー車等の植生域への侵入や、砂丘の安定化による内陸性の植物の侵入など、様々な要因によりハマナスなどの海浜植物が失われつつあります。そこで、石狩浜海浜植物保護センターでは、石狩浜の原風景の再生を目指し、平成25年度に「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトでは、当センターの隣接地 7,000 m²を「ハマナス再生園」とし、ハマナスの苗移植や、散策路づくりを、「はまなすサポーター（研究機関、企業、市民等）」の方々と協働で取り組みました。また、市民有志が集まり（はまなすフェスティバル実行委員会）、各種イベントを開催しました。

■はまなすフェスティバル

内容：石狩浜海浜植物保護センターを会場に、食や香り、美容や健康、景観や保全といった様々な視点からブースを設け、ハマナスをきっかけに、石狩浜のすぐれた自然の魅力・大切さを多くの人に伝えました。また、ハマナスを活かした市民活動の活性化につなげました。

開催日：平成27年6月20日（土）

会場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：570人



■はまなす広場

内容：「石狩さけまつり」と同日開催し、ハマナスの実の活用（ジャムづくり）と再生園づくり、はまなすサポーターの新規募集など、ミニはまなすフェスティバルとして開催し、とことん秋のハマナスを楽しみました。

開催日：平成27年9月26日（土）

会場：石狩浜海浜植物保護センター

来場者数：380人



■はまなすセミナー

内容：「ハマナス香水の歴史とコスメへの活用」と題してセミナーを開催し、北海道開拓期における香料、香水づくりを学び、石狩市の歴史資源、今後の地域資源としてのハマナスの魅力と可能性を探りました。

開催日：平成 27 年 10 月 10 日（土）

場 所：花川南コミュニティセンター

講 師：伊藤由起子氏、尾形優子氏

参加者数：43人



■再生園の様子

石狩浜海浜植物保護センター隣接地、約7,000㎡をハマナス再生園として再生、活用するために、300m程度の園路にウッドチップを敷設しました。また、はまなすサポーターや市民による再生園整備作業を行いました。

はまなすサポーター活動日：6/11、7/9、9/10、10/24

●ハマナス再生園上空写真



●ハマナス再生園（園路作業前） H27. 5月撮影



●ハマナス再生園（園路作業後） H27. 9月撮影



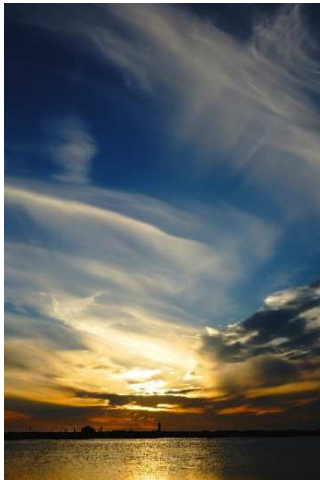
■第3回 石狩海辺の風景写真コンテスト

募集期間：7月1日～8月31日

応募数：66点

全国的にも希少になりつつある自然海岸を色濃く残した石狩浜の魅力を広く発信するため、「海辺の風景写真コンテスト」を開催しました。

応募作品すべて、市内外の各所で展示会を行いました。



＜グランプリ＞
タイトル：大空



＜準グランプリ＞
タイトル：初冬の星々



＜石狩市長特別賞＞
タイトル：たこ揚げ



＜準グランプリ＞
タイトル：夏の思い出



＜はまなす賞＞
タイトル：霜化粧

2. いしかり海辺ファンクラブ協働事業

石狩市協働事業提案制度に基づき平成23年度に採択された、市民団体いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」（提案制度は平成23～26年度）について、引き続き、表1-1のとおり取り組みました。

表1-1 石狩海岸の保全と啓発に関する事業実施状況

■パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」配布

石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）パンフレットを、7月25日（土）、8月8日（土）の2日間、レジャー利用者等に配布しました。

■海辺パトロールウォーク

海浜植物保護地区外の海浜植生域のバギー車等の乗り入れ状況を調査するために、5月1日（金）、6月4日（金）、7月3日（金）、8月7日（金）、10月16日（金）、11月5日（木）の計6回、パトロールを実施しました。



パンフレット



7/25 パンフレット配布



8/7 パトロール活動

3. 自然教室等

平成27年度は、表1-2のとおり実施しました。実施にあたっては、社会教育施設や市民団体との共催により、普及啓発事業の効率化を図りました。

表1-2 平成27年度自然観察会等の開催状況

■いしかり海辺カルチャートーク 第1回「はまなすの丘公園の花々の魅力」

（いしかり海辺ファンクラブ主催）

4月20日（月） 参加者16名

会場：マウニの丘

講師：石狩浜定期観察の会 代表 安田秀子 氏

■いしかり海辺カルチャートーク 第2回「実は野鳥の豊庫！石狩海岸の多彩な鳥たち」

（いしかり海辺ファンクラブ主催）

6月8日（月） 参加者34名

会場：マウニの丘

講師：石狩鳥類研究会 代表 樋口孝城 氏

■フットパスツアー「初夏のシップ海岸を歩き石狩産食材を味わう」

（いしかり海辺ファンクラブ主催）

6月27日（土） 参加者41名

石狩川右岸堤防からスタートし、聚富原生花園、無煙浜まで初夏の石狩海岸を約10km歩きました。

■セイヨウオオマルハナバチ駆除体験会 in 石狩

（北海道セイヨウオオマルハナバチ駆除対策推進協議会主催）

7月11日（土） 参加者19名

会場：海浜植物保護センター ほか

環境科学研究センター西川氏の講義の後、無辜の民像周辺で駆除体験を行った。

■石狩浜ナイトウォーク 2015 (いしかり海辺ファンクラブ主催)

7月11日(土) 参加者42名

会場: 海浜植物保護センター ほか

フィールドビンゴ、砂鉄集めなどを行い、石狩浜の夕べを楽しみました。

■夏休みミニ自然教室

7月25・26日(土・日)、8月2・3日(土・日) 参加者93名

会場: 海浜植物保護センター

指導: 石狩浜自然案内人

クラフト遊び、自然観察園での自然観察を行いました。

■親子体験講座「テンキづくり～ハマニンニクで小カゴを編む」(いしかり砂丘の風資料館主催)

7月25日(土) 参加者12名

会場: いしかり砂丘の風資料館

海辺の環境を学ぶとともに、アイヌの人々が使用していたハマニンニクを使った編み物を体験もしました。

■ハマナスで草木染教室

8月6日(木)・8月13日(木) 参加者17名

会場: 海浜植物保護センター

ハマナスの根や葉を使って、ハンカチやストールを染めました。ハマナスクイズも実施。

■いしかり海辺カルチャートーク 第3回「石狩海岸の昆虫の驚くべき多様性」

(いしかり海辺ファンクラブ主催)

8月24日(月) 参加者29名

会場: マウニの丘

講師: 昆虫研究家 小林英男 氏

■フットパスツアー「はまなすの丘公園自然観察と本町歴史散歩&名物の鮭鍋を味わう」

(いしかり海辺ファンクラブ主催)

9月12日(土) 参加者23名

はまなすの丘公園と本町地区を約10km歩きました。

■ウミベオロジー/石狩海辺学2015「ウミベで時を遡る」

(いしかり館ネットワーク主催)

10月3日(土) 参加者46名

会場: 紀伊國屋書店札幌本店1F インナーガーデン

講師: 北海道立総合研究機構地質研究所 川上源太郎 氏

札幌市博物館活動センター 古沢仁 氏

■いしかり海辺カルチャートーク 第4回「石狩浜の自然を撮り続けて」

(いしかり海辺ファンクラブ主催)

10月26日(月) 参加者28名

会場：マウニの丘

講師：石狩浜定期観察の会 田辺英世 氏、鎌田宣夫 氏

■第3回石狩海岸フォーラム「石狩海岸クイズでふしぎ発見」

(いしかり海辺ファンクラブ主催)

11月29日(日) 参加者40名

会場：花川北コミュニティセンター

講師：松島肇、安田秀子、内藤華子(いしかり海辺ファンクラブ)、志賀健司(いしかり砂丘の風資料館)



7/11 セイヨウオオマルハナバチ駆除体験



11/29 石狩海岸クイズでふしぎ発見

4. 教育機関等への学習指導

センターでは、小中学校等教育機関が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する環境プログラムを提供しています。平成27年度にセンターを利用した学校等は表1-3のとおりでした。

なお、小中学校が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する学習プログラムを示した「石狩浜自然ふれあい学習のすすめ」をHP上で配信しています。

表1-3 平成27年度学校等利用状況

利用日	学校・学年	人数
5月7日(木)	南線小学校3年生	161
5月10日(日)	石狩翔陽高等学校2年生	44
5月25日(月)	石狩小サクリグクラブ	12
6月10日(水)	双葉小学校	34
6月16日(火)	発寒にこりんこども園	20
6月23日(火)	発寒にこりんこども園	20
7月8日(水)	藤女子大	19

7月 8日(水)	緑苑台小(特別支援学級)	9
9月10日(木)	石狩中学校1年生	25
9月11日(金)	北陽幼稚園	36
9月22日(水)	北陽幼稚園	35
10月 8日(木)	石狩小学校5年生	12
10月15日(木)	石狩小学校1年生	11
	利用団体数 延べ13団体	合計438人

5. 出張講座・講師派遣事業

出張・出前講座及び講師派遣事業は表1-4のとおりです。

表1-4 平成27年度出張講座・講師派遣事業実施状況

■出前講座(石狩翔陽高校2年生) 講話4月21日(火)、現地学習5月19日(火)、ワークショップ6月16日(火) 会場:石狩翔陽高校、石狩浜海浜植物保護センター 内容:講話・野外観察「石狩浜の自然と保全」 人数:39名
■事業協力:北の里浜 花のかけはしプロジェクト(石狩中学校2年生) 種まき作業5月22日(金)、移植作業7月22日(水) 会場:石狩中学校 内容:仙台北海岸の海浜植物の種まき、育苗、移植など。被災海岸の現状等を学ぶ。 人数:28名
■事業協力:北の里浜 花のかけはしプロジェクト(石狩中学校3年生) 7月25日(土)・26日(日) 会場:宮城県名取市(名取市関上浜) 内容:海浜植物の植栽、被災地での交流など 人数:4名
■出前講座:石狩浜学習(石狩中学校1年生) 9月10日(木) 会場:海浜植物保護センター、石狩中学校、石狩浜(クレーター周辺) 内容:ハマナスの実ジャムづくり、バギー車跡見学、キャッチコピーづくり など 人数:25名 協力:いしかり海辺ファンクラブ

■ブース出展：科学の祭典 in 石狩 2015（主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会）

9月12日（土）

会場：石狩市こども未来館

内容：「海浜植物はどっち～ハマヒルガオ VS アサガオ」

全体来場者数：1,600名

協力：石狩浜自然案内人

■出前講座：実技講習会「ハマナスで草木染」（主催：石狩教育研究会生活科部会）

10月16日（金）

会場：紅南小学校

内容：ハマナスや身近な植物でハンカチの草木染を実技指導した。

人数：石狩管内小学校教師 70名

協力：石狩浜自然案内人

■ブース出展：CISE サイエンス・フェスティバル 2016 in チ・カ・ホ

（主催：CISE ネットワーク）

1月23日（土）・24日（日）

会場：札幌駅前通地下歩行空間「北大通交差点広場（東・西）」

内容：「海浜植物はどっち～ハマヒルガオ VS アサガオ」

全体来場者数：7,761名

協力：石狩浜自然案内人

■事業協力：E S D環境教育「どーする地球の明日～石狩浜の自然～」(双葉小学校5年生)

6月から2月にかけて、体験（時数18）、探求（時数20）、実践（時数22）の総合的な学習の時間のサポートを行った。

会場：双葉小学校、はまなすの丘公園 ほか

内容：石狩浜での現地学習、チームで課題・情報の整理、探求学習と発表など

人数：60名

協力：いしかり海辺ファンクラブ

6. 施設利用

各種団体の利用状況は表 1-5 のとおりです。

表 1-5 平成 27 年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況

利用日	利用団体	人 数
5月 9日（土）	自然教育促進会	37
5月 10日（日）	観知草クラブ	38
5月 10日（日）	自然教育促進会	28

5月24日(日)	健康アウトドアクラブ	8
5月24日(日)	高橋水産石狩工場	23
6月 5日(金)	デイサービス栄町ほのか	8
6月 6日(土)	能徳寺(小樽)	11
6月 8日(月)	北広島健康クラブ	20
6月29日(月)	山歩会	45
7月 5日(日)	野生動物生態研究会	14
7月 6日(月)	デイサービスふくろうの森	12
7月11日(土)	札幌市博物館活動支援センター	24
7月18日(土)	千歳市自然保護協会	19
7月22日(水)	札幌市北区百合が原福祉会	16
7月26日(日)	岩見沢千草町会	30
7月26日(日)	しおん学園(東京)	12
8月 5日(水)	放課後デイサービスらふと	8
8月19日(水)	グループホーム百合が原ファミリア	8
9月 4日(金)	放課後デイサービスらふと	4
9月 4日(金)	入湯会	9
9月 5日(土)	えにわフットパス愛好会	25
9月12日(土)	秋のハマナスの丘公園観察会	22
9月17日(木)	花山歩の会	20
9月17日(木)	秋山観光(深川市)	25
9月20日(日)	秋元グループ	8
9月20日(日)	北海道海浜美化をすすめる会	20
10月24日(土)	簡易郵便局空知支部	18
	利用団体数 延べ27団体	合計512人

7. ふるさと海辺フォーラム

海浜植物保全活動を全国に広げていくことを目指し、海辺の自然保護活動に取り組む団体と交流を図っています。平成27年度は、表1-6のとおり、8月18、19日(土日)に、静岡県浜松市で、サンクチュアリエヌピーオーの主催により開催されました。

表 1-6 平成 27 年度ふるさと海辺フォーラム開催状況

■ 1 日目（8 月 18 日（火）） 会 場：サンクチュアリネイチャーセンター（静岡県浜松市）、白羽海岸 参加者：22 名 内 容： （1）基調講演 タイトル：海浜植物の保全 ―ハマボウフウに取り組んで― 講師：東京農業大学農学部 教授 雨木若慶 氏 （2）活動体験 砂浜回復事業「一人一袋運動」、子ガメ観察会 など
■ 2 日目（8 月 19 日（水）） 会 場：サンクチュアリネイチャーセンター 内 容：各地団体の活動発表 【参加団体】 1. 北海道石狩市「石狩浜海浜植物保護センター」 2. 北海道石狩市「いしかり海辺ファンクラブ」 3. 宮城県名取市「名取ハマボウフウの会」 4. 東京農業大学 5. 神奈川県茅ヶ崎市「NPO 法人ゆい」 6. 静岡県浜松市「サンクチュアリエヌピーオー」 7. 愛媛県伊予市「伊予農業高校」 8. 浜松市南区農業者

8. 執筆・寄稿

出版物への投稿は表 1-7 のとおりです。

表 1-7 平成 27 年度出版物への寄稿・執筆状況

■ 雑誌「モーリー第 40 号」誌面『ネイチャーセンター日記』 発行：財団法人北海道新聞野生生物基金 テーマ：市民団体と協働して取り組んでいます ～カントリーコードと海辺パトロール～

9. 刊行物・HP

平成 27 年度に配布した刊行物等の発行状況は表 1-8 のとおりでした。

センターのホームページで配信し、行事情報、開花情報を中心に更新しました。

なお、ホームページアクセス数は表 1-9 のとおりです。

また、ブログ「石狩浜観察日記」で石狩浜の自然豊かな様子を、写真中心にお届けしています。

表 1-8 平成 27 年度刊行物発行状況

刊 行 物 名	内 容
通信誌「はまぼうふう」vol.50～52	浜の自然情報やセンターの行事予定などを掲載

表 1-9 平成 27 年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数（単位：件）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	1,627	2,058	3,066	2,405	2,087	1,573
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	1,134	1,312	1,247	1,587	851	1,279
年間計	20,226		月平均		1,686	

10. 海浜植物種子の配布

来館者向けに配布した種子の種類と数は表 1-10 のとおりでした。

表 1-10 海浜植物種子配布状況（単位：袋）

種 類	配布袋数	種 類	配布袋数
ハマボウフウ	1,162	ハマヒルガオ	580
ハマエンドウ	815	エゾカワラナデシコ	994
ハマハタザオ	665	ハマナス	324
ノハナショウブ	17	配布合計	4,557

2. 調査・研究

平成 27 年度取り組んだ主要な調査研究（共同・協力含む）は、表 2-1 のとおりでした。また、これまでに発行した調査研究報告は表 2-2 のとおりです。結果については、別途作成の報告書や、紀要等へ掲載していきます。

表 2-1 平成 27 年度調査研究実施状況

■はまなすの丘海岸線侵食状況の把握
■はまなすの丘植物開花状況調査（石狩浜定期観察の会）

表 2-2 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

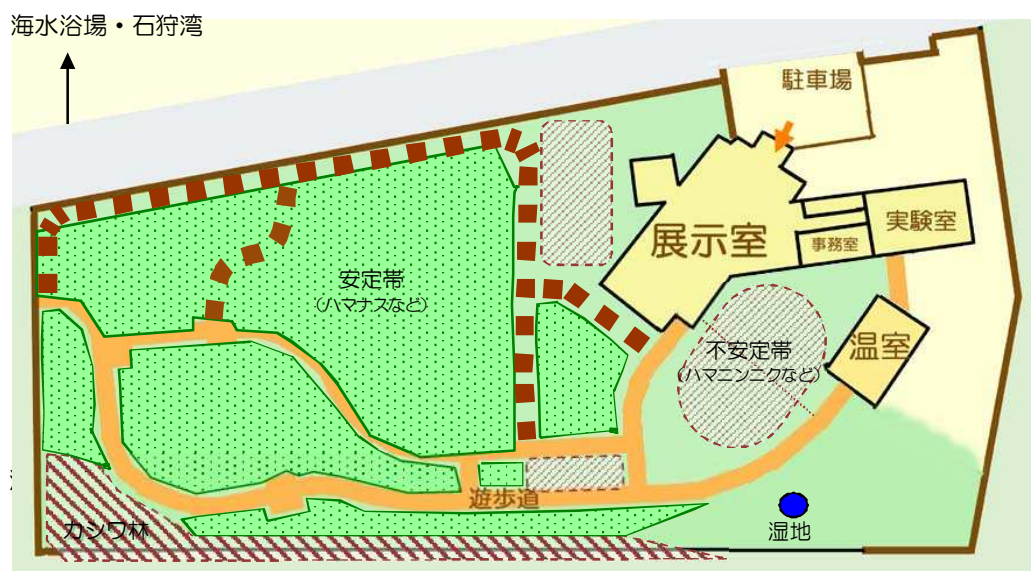
報 告 書 名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と 14 年間の植生変化(2002 年度調査)	1 号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況（2003 年度調査）	2 号
石狩海岸林の植生概要（2004 年度調査）	3 号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録（2004/2005）	4 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2006）	5 号
聚富海岸の植生概況（2007 年度調査）	6 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2007）	7 号
1989 年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8 号
2008 年から 2010 年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9 号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10 号

3. 自然観察園の整備

1. 自然観察園

センターの自然観察園は、展示施設に隣接した約 2,100m²の敷地です。石狩浜に自生する海浜植物を集めると共に、石狩砂丘の植生の帯状構造を再現するように、自然植生を生かしながら移植、播種、及び除草等を行っています。

また、来館者の学習をサポートするために、クイズラリーの看板等を設置し、環境学習の場として積極的な活用を図っています。



-  不安定帯（ハマニンニク、オカヒジキ、ハマボウフウなど）
-  安定帯（ハマナス、ハマエンドウ、エゾスカシユリ、エゾカワラナデシコなど）
-  カシワ林

図 3-1 自然観察園概況

2. 市内公園等での海浜植物栽培

センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、表 3-1 のとおり、市内の公園で栽培しています。

表 3-1 平成 27 年度市街地公園花壇等への海浜植物栽培状況

公園名	海浜植物の種類
図書館横	エゾカワラナデシコ、イソスミレ、ハマボウフウ、ナミキソウ、エゾスカシユリ、シロヨモギ



図書館横花壇

4. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持や外来植物の除去を行いました。

1. 親船名無沼観察路

通称親船名無沼は、平成 17 年度に行った動植物相調査により、多様な水生動植物が生息生育することがわかりました。多くの人が沼の自然に親しめるよう、センターでは平成 18 年より、道路から沼岸まで近づける歩道、観察場を設置し、維持管理を行っています。平成 27 年度も引き続き維持管理を行いました。



図 4-1 通称親船名無沼の位置

2. 海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

海浜植物保護センターから弁天歴史公園まで、海浜植物群落やニセアカシア林を通して散策できるよう、毎年散策路の草刈りを行っています。

ハマナス再生園の園路と有機的につなげ、本町地区を訪れる利用者の利便性を図りました。



図 4-2 海浜植物保護センターから弁天歴史公園までの散策路のルート

3. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。

平成 27 年度も以下のとおり実施し、企業の社会貢献活動として多くの方の参加があったのが特徴でした。今後も継続していきます。

表 4-1 平成 27 年度外来植物等の除去作業実施状況

日にち	参加者数	参 加 団 体 等
4 月 25 日（土）	約 150 名	石狩市緑化推進協議会、石狩ライオンズクラブ、親船高齢者クラブハマナス会、いしかり海辺ファンクラブ、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、石狩観光協会、センター運営委員会、石狩観光協会、石狩植物愛好会、NTT 東日本グループ北の自然守り隊、ほか
10 月 24 日（土）	約 30 名	

5. 来館者数

平成 27 年度の開館期間中（4 月 29 日～11 月 3 日）の来館者数は、10,842 人でした。月別来館者数は、図 5-1 に示しました。また、平成 12 年度からの来館者数の変化を図 5-2 に示しました。

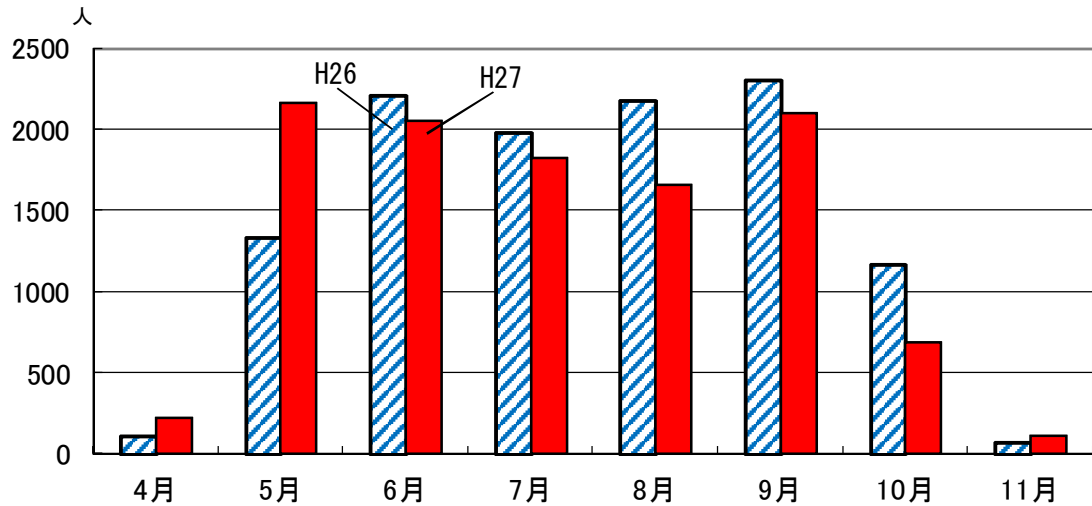


図 5-1 平成 27 年度の来館者数の月変化と前年度との比較

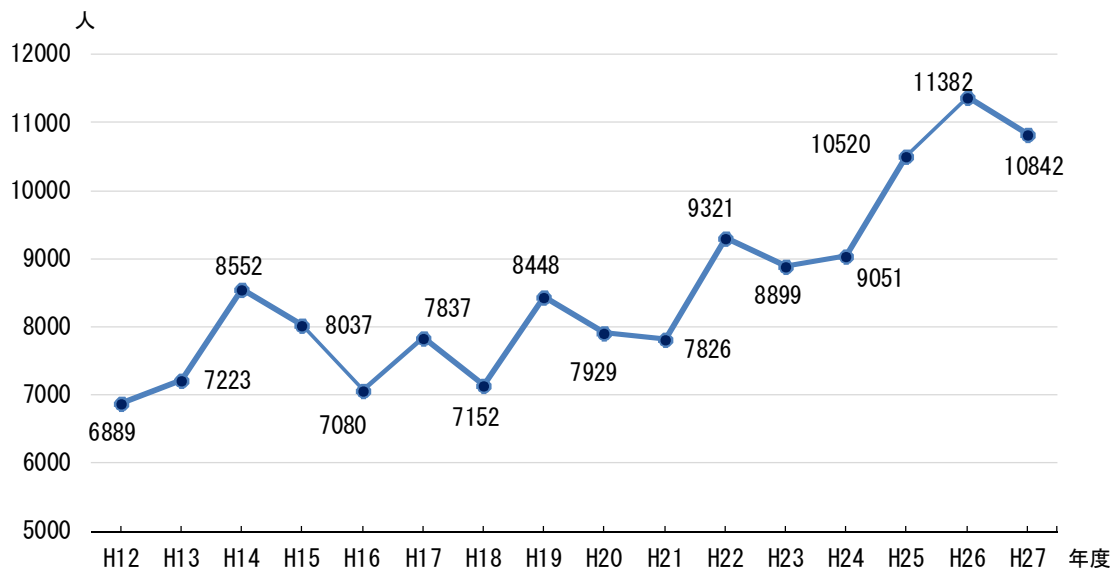


図 5-2 平成 12～27 年度の来館者数の年変化

6. 保護・回復対策

1. 海浜植物等保護地区の監視

「河口地区」、「聚富地区」、「弁天地区」、「親船地区」において、4月から10月まで（聚富地区は5月から10月まで）監視員2名により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用が増える状況にあり、監視による抑止効果は大きいと思われます。

石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

2. 親船地区西側のエリア

親船地区西端から石狩湾新港東側(三線浜)にかけての約2.6kmの海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成15年、北海道）に基づき、平成17年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への進入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から進入していることがわかっています。

海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、新たに指定した「弁天地区」、「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。

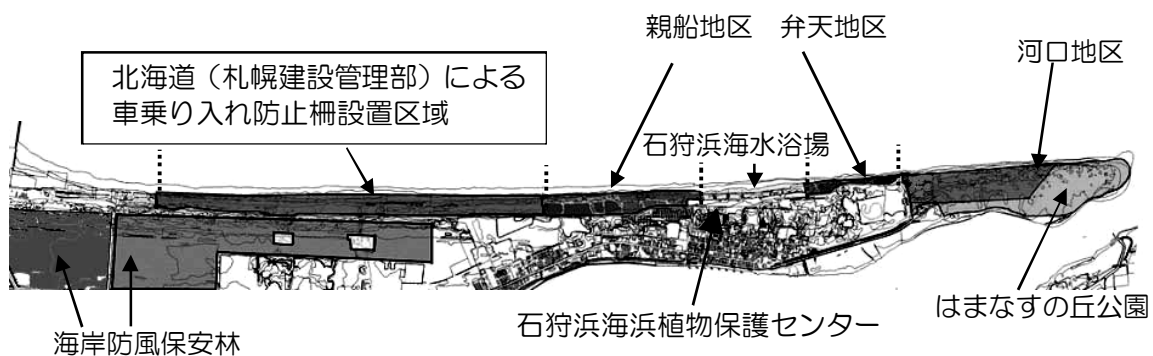


図 6-2 車乗り入れ防止柵設置区域

治 革

石狩浜海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩浜海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

施設概要と業務内容

名 称	石狩浜海浜植物保護センター
所在地	石狩市弁天町48番地1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模	敷地面積：11,244.1 m ² センター／木造2階建、延床面積：259.5 m ² 、建物高：10.9m 温 室／鉄骨造平屋建、延床面積：42.5 m ²

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と観察園、再生園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

観察園は、石狩浜に生育する海浜植物を一堂に集め、その生態観察の場となっています。また、再生園では、ハマナスを中心とした海浜植物の再生と活用の場として整備しています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

○ 啓発・普及業務

展示施設・自然観察園の整備・更新

施設見学者への対応

講座・観察会等の開催

市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営

ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整

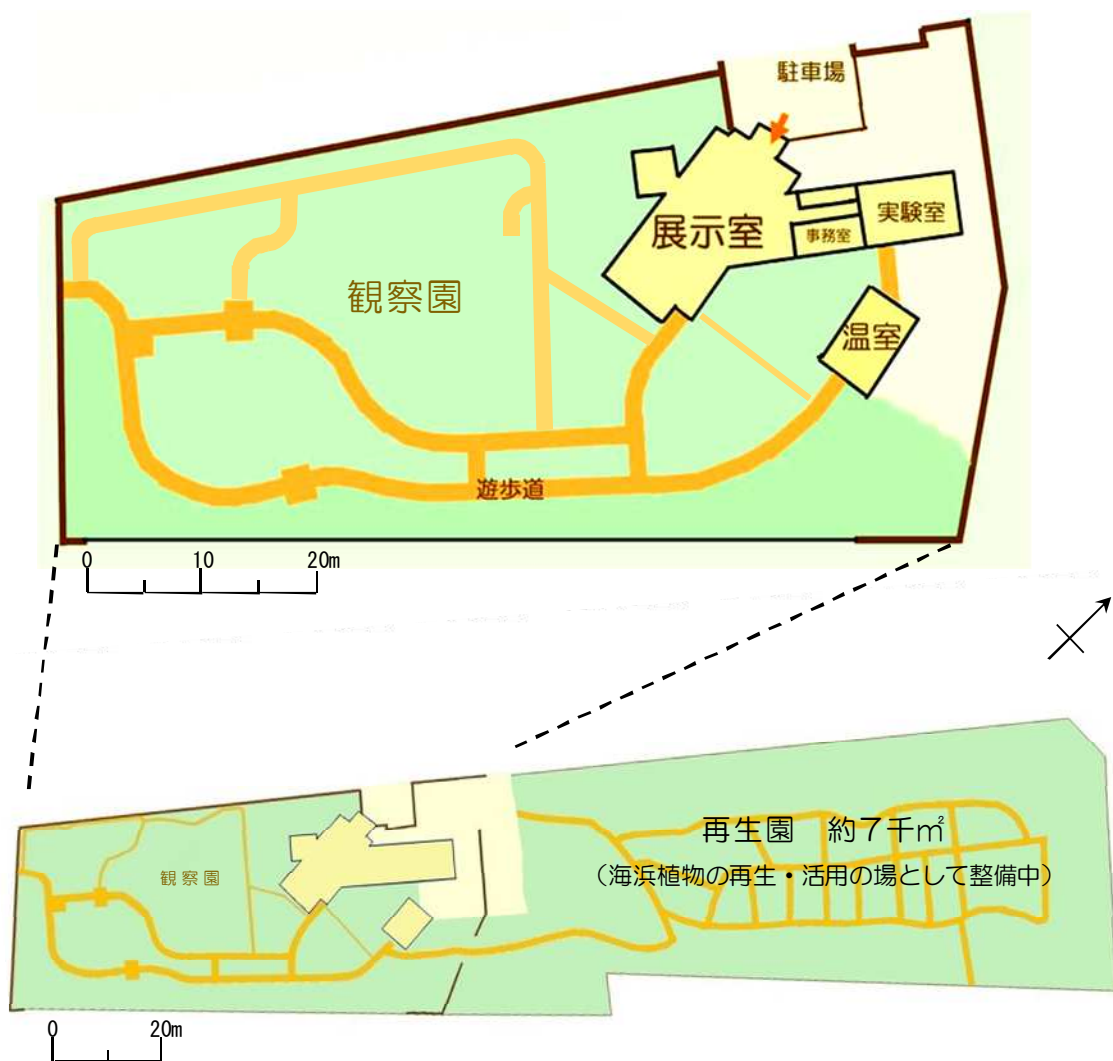
○ 調査・研究業務

石狩浜の動植物の生息、生育状況に関する調査

海浜植生の保全に係る調査研究と実施

海浜植物の保護・保全計画の立案と実施

ボランティアグループの調査研究活動支援



石狩浜海浜植物保護センター施設略図

施設の改修等

平成27年度は、観察園の木道（枕木）が老朽化してきているため、一部を改修し、利用者の安全性向上を図りました。

また、夜間の防犯対策として、職員通用口にセンサー付きライトを設置しました。

石狩浜海浜植物保護センター利用案内

開館期間 4月29日～11月3日

開館時間 9時～17時

休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）

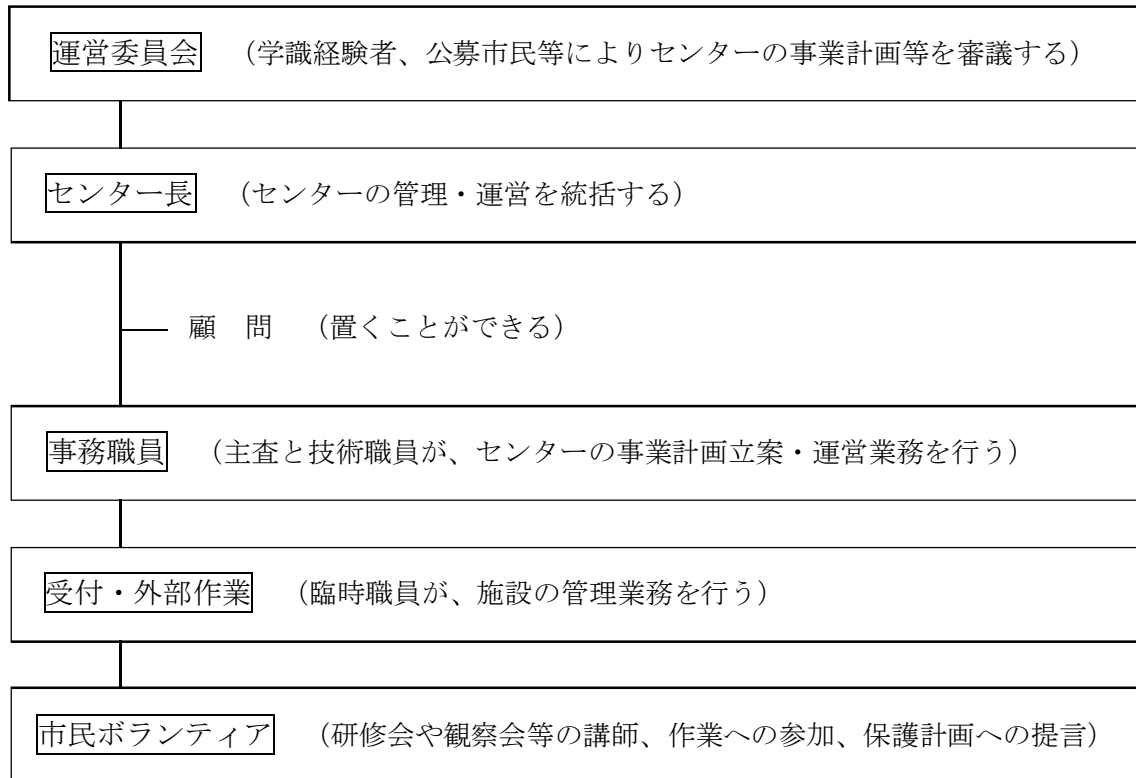
入館料 無料

駐車場 あり

交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」発
「石狩」行き約60分「石狩温泉前」下車
徒歩5分



管理運営と組織図



◆石狩浜海浜植物保護センター運営委員会名簿 （第8期：H26.4.1~H28.3.31）

会 長	松島 肇
副会長	安田 秀子
委 員	伊井 義人
委 員	荒井 一洋
委 員	内藤 華子
委 員	石山 優子
委 員	原田 京子
委 員	北條 静香
委 員	岩城 寧子

平成２７年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書
平成２８年９月発行

発 行 石狩市
編 集 環境市民部石狩浜海浜植物保護センター
開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1
tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2
tel.0133-72-3269 fax.0133-75-2275
E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.htm>